

くるみplus

地域コミュニティの基盤を生かした
多世代がつながる地域活性化事業

SEASON 2



テーマ：多世代が関われる仕組み＆場所づくり

02



◎子育て世代

- ・安心して繋がれる「地域の出会いの場」のニーズ
- ・子育てしながらも関われる場所

◎現役世代

- ・仕事以外にもリアルな人間関係が欲しい
- ・地域を知ることによって暮らしている街に誇りを持つ

◎高齢者世代

- ・スキルや能力を地域のために発揮できる完了
- ・家から出ることによって介護予防に繋げる



子育て世代・現役世代



地域

高齢者

2年目の実施内容

03



定期開催の
駄菓子屋さん



イベント打ち合わせ



夏祭り



マルシェ出店
出張駄菓子屋

2年目の成果

04

	開催回数	来場者数	コメント
駄菓子屋さん	6月～3月 第二土曜 第四水曜	各回20名程度	こども店長が主体となり運営。お金のチェックや相談を地域の高齢者やスタッフで担当
イベント 出店	3回開催 7月、9月、12月	各回100名程度	9月と12月は磯辺公園マルシェ 7月は夏祭りに参加 多世代が関わる機会となったが 当日のスタッフの予定がいっぱいで 人材不足が露呈

課題

今年度の結果

お祭りやイベントなど地域活動の現場で
多世代の交流を生み出したい



賑わい創出をする以前に
運営側の体制が整えきれなかった

気軽に立ち寄れる場所の必要性
その場所での人との交流



定期開催により認知度は上がり
気軽に参加できるという声は増えた

地域に暮らす人の「居場所」や「役割」に
出会う機会が少ない



スタッフが回によって変わるので
コミュニケーションが取りづらいこともあつた